世界で最も信頼性と透明性の高い
Filecoinの関連データセンターマイニング

IPFS infinite JAPAN

概要のご説明

更新：2021.7.1

IPFS infinite JAPAN（IPFS インフィニットジャパン）、それは新時代の Web イノフラ設備投資案件

1. Filecoinとは？
2. Filecoinが注目される理由
3. Filecoinの価格の予想
4. IPFS infinite JAPANとは？
5. 販売価格
6. IPFS infinite JAPANの収益シミュレーション
7. IPFS infinite JAPANが他社より優れている理由
8. ご購入のプロセスと契約書のサンプル

はじめに

新しい時代のインターネットのインフラとなる
Web3.0の新技術。

その根幹技術を構成し、
Bitcoinを超えるという声も聞かれる
世界が注目するブロックチェーンの**Filecoin**。

Filecoinへの投資は、
新時代のインターネットのインフラへの投資なのです。

1. Filecoin（ファイルコイン）とは？

AWSやGCPのような大手IT企業によるクラウドサービスに代わる技術として、アメリカのProtocol Labsが主導し開発された「IPFS」は分散型ストレージを構築する**新時代のWeb3.0のインフラ**です。

このIPFSは従来のような集権型ストレージではなく、世界中のタダイドスに眠る空きストレージを活用し、巨大なネットワークを構築しようという一大プロジェクトであり、

このネットワーク参加者だけ与えられる報酬が
Filecoin（ファイルコイン）になります。

現在はIPFSを活用した様々なサービスが世界中で誕生しており、この新時代のインフラへの投資ができるFilecoinの投資家の間では注目を集めています。

2. Filecoin（ファイルコイン）が注目される理由

今や世界中の人々がインターネットに依存し、データ量、データ量も表現するデジタル社会を我々は生きています。

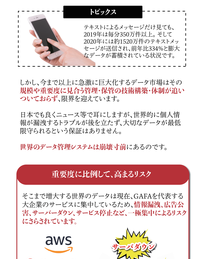
その利用人口が世界的に増えている事に加え、**ビッグデータ**、**高速データ通信インフラ**の整備また、動画などデータ量は**分散ストレージサービス**がますます身近になり、それぞれを使用する**クラスタの機械**が欠かせないフェーズに突入し、流通し続けています。

それに伴い、世界のデジタルデータの消費量が加速度的に**増えています**。

2022年現在、世界に現存するデータの90%がここ2年間に生成されたものであることからも、その事が伺えます。

データは、今や**我々の生活及び経済活動**になくてはならないものになりました。

Figure 1 : Annual Size of the Global Datasphere



人とのコミュニケーションを、調べ物のための検索も、仕事も、地図も、ショッピングも、音楽や映画などのエンターテイメントもやインターネットを使う時代。

それらの**ほぼ全てのデバイス**一つにもデータが発生し、処理されています。

今、世界では毎日250ガバイトのデータを算出しており、IDC Globalの予測によると、2025年には世界で発生するデータ量は175ゼッタバイトに不増えると予想されています。

トピックス

テキストにおけるメッセージだけ見ても、2019年は毎分500万件以上、2020年には毎分150万件のテキストメッセージが送信され、世界中で膨大なデータが蓄積されていく状況です。

しかし、今までに以上に急激に巨大化するデータ市場はその**規模や重要性**に伴う**管理・保管**の技術開発・体制が追いついておらず、限界を迎えています。

日本でも良くニュース等で耳にしますが、世界的に個人情報が漏洩するトラブルが後を立たず、大切なデータが最低限守られるという保証はありません。

世界中のデータ管理システムは崩壊寸前にあるのです。

重要度に比例して、高まるリスク

そこで増大する世界のデータは現在、GAFAを代表する大企業のサーバーに集中していたが、**情報漏洩**、**改竄**、**サーバーダウン**、**サービス停止**など、一極集中によるリスクにさらされています。

データを分散化させる技術「IPFS」があれば、このデータ一極集中から解放され、より安価、安全にデータ保存できるため、このWEB インフラの技術的な問題解決が出来る様々な分野から期待されています。

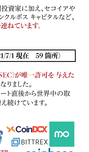
大量に保有するデータを管理するためのサーバー設備などと聞く共に資金と維持費をかけている大企業にとってこのIPFSの技術は魅力的であり、**すでにクネットやメディアやゲーム**などを始めとした大手企業も採用を発表しています。

NETFLIX　Google　facebook
JD.COM　J.P.Morgan　HUAWEI
Opera　ethereum　imToken

Filecoin 注目の新ニュース

・ネクストタイプのビットコインの次に来る
「こののアルトコイン」一つにFilecoinを選出

・時号通信フィット最大手の米ヴェールターン、
ファイルコインなどこのアルトコイン群への投資信託を組成



・Braveブラウザが「IPFS」対応を実施、
中央集権型な次世代Web3.0に前進

有名企業による数々の出資実績

SEQUOIA　skype　Stanford University　ANDREESSEN HOROWITZ
UNION SQUARE VENTURES　Y Combinator　DIGITAL CURRENCY GROUP　coinbase

2017年8月にICOを実施したFilecoinは、合計2億5,700万ドル（約260億円）もの資金を調達しました。

この出資者の中には著名な機関投資家に加え、セコイアやアンドリーセン・ホロウィッツ、ウィンクルボス キャピタルなど、**著名なベンチャーキャピタルも名を連ねています**。

世界中の取引所で上場（2021/7/1現在：59 取所）

Filecoinは、**アメリカ証券取引所SEC**が唯一認可を与えた**初めてのアメリカ生まれ**のコインとなりました。
2020年10月にインイキョッドがスポット直後から世界中の取引所でつぎつぎと上場を果たし、現在も増え続けています。

BAT（ベーシックアテンショントークン）の日本上場

現在、日本における暗号通貨取引所は上場審査が厳しく、新規上場されるプロジェクトは始まりません。

しかし、同じようにWeb3.0技術のブロックチェーンである BAT（ベーシックアテンショントークン）は2020年、日本の暗号通貨取引所「Coincheck」に上場を果たし、新型コロナ禍の低迷相場の中でも力強く相場を牽引し、現在も着実にその価格を上昇させています。

Filecoinも現在、国内取引所に上場する可能性の話もあり、実現すれば注目度は飛躍的に高まることでしょう。

3. Filecoinの現在の価格と今後の予想

現時点のチャート（2021/7/1現在　1FIL=60USD）

6. 収益シミュレーション

シーン	月額	顧客数	年間収益	年間ストレージ容量
ダメージ	100,000	1	10.0万	12,000GB
ローカル	500,000	5	30.0万	72,000,000GB
ダメージ	1,000,000	10	240.0万	1,200,000GB
ローカル	5,000,000	50	1,800.0万	7,200,000,000GB
ダメージ	10,000,000	100	4,800.0万	12,000,000GB
ローカル	50,000,000	500	36,000.0万	72,000,000,000GB
マスター	50,000,000	20	1,080.0万	57,600,000GB
ダメージ	100,000,000	100	9,600.0万	120,000,000GB
ローカル	500,000,000	500	72,000.0万	720,000,000,000GB

※1万人がローカルに、ブルーマーケットが数百万人がダメージに加入した場合、あなたの年収は？ 約2億円！

・2021年7月11日の非認可のイーサリアムネットワークにて、子認証で認証されて「11日あたり-9.06 ETH」。

・10時の6Gbs.出資でいくらあったんだ？シミュレーションです。

・3年後の予想収益は世界理想なことで正しいとしたものです。

7. IPFS infinite-JAPAN

・販売金額を、運営スキーム総の年間「1,095日間」で得られたタイニングで開始の最終日と投資期日数で除し、1日あたりの投資子想ユニット数」を算出しました。

・このIFL投資ユスムが現物換算よりなぜ上は、<u>**それだけは投資日は日本政府出資**</u>**ということになります。**

投資日	投資ユニット数	投資金額	投資日	投資ユニット数	投資金額
9月1日	1,095	1億円	9月16日	1,080	9億9,600万円
9月2日	1,094	1億1,000万円	9月17日	1,079	10億1,000万円
9月3日	1,093	1億2,000万円	9月18日	1,078	10億2,000万円
9月4日	1,092	1億3,000万円	9月19日	1,077	10億3,000万円
9月5日	1,091	1億4,000万円	9月20日	1,076	10億4,000万円
9月6日	1,090	1億5,000万円	9月21日	1,075	10億5,000万円
9月7日	1,089	1億6,000万円	9月22日	1,074	10億6,000万円
9月8日	1,088	1億7,000万円	9月23日	1,073	10億7,000万円
9月9日	1,087	1億8,000万円	9月24日	1,072	10億8,000万円
9月10日	1,086	1億9,000万円	9月25日	1,071	10億9,000万円
9月11日	1,085	2億0,000万円	9月26日	1,070	11億0,000万円
9月12日	1,084	2億1,000万円	9月27日	1,069	11億1,000万円
9月13日	1,083	2億2,000万円	9月28日	1,068	11億2,000万円
9月14日	1,082	2億3,000万円	9月29日	1,067	11億3,000万円
9月15日	1,081	2億4,000万円	9月30日	1,066	11億4,000万円

現物換入VSマイニング　パフォーマンス比較

※現在価格 BTC 4,500円以上で計算
※ETH 0.5円換算

現物を購入、11.0倍の差！ETHが1年間のBTCをマイニングを新う場合

	158,000 円	2.5 M	75.0M	75.0M
	【3年後】 1%	**¥16,000 ・年間**	**23.5M ・ 8%**	**¥384,000**
	【3年後】 10%	**¥160,000 ・年間**	**23.5M ・ 80%**	**¥3,840,000**
	【3年後】 100%	**¥1,600,000 ・年間**	**23.5M ・ 93.50%**	**¥39,000,000**

・マイニングは2日ごとのBTCとETHが1年間のBTCをマイニングを新う場合

158,000 円	プロンプトイン・	1年後年間換算	45.50	75.0
【3年後】 1%	**¥16,000 ・年間**	**40.30 ・ 8%**	**¥40,000 ・**	**¥646,120**
【3年後】 10%	**¥160,000 ・年間**	**40.30 ・ 80%**	**¥40,000 ・**	**¥266,112**
【3年後】 100%	**¥1,600,000 ・年間**	**40.30 ・ 93.50%**	**¥40,000 ・**	**¥133,056**

中長期的に見ると、IFIBNSにイニングの方が強すぎ！！

ゴールド・プラチナ・パッケージは**<u>**ほぼ**</u>強制は高くなる！**

7. IPFS infinite-JAPAN が強化より優れている理由

1マイニングを行う機械を購入すると、設備投資の実作である

各のマイニング業者は機能のネットワークにおいて形式化をしていたのに、通信が遅くなりすぎたりしたり、通信が遅くなりすぎたりしたIPFS infinite-JAPANの機械の場合、ネットの機械の現在通信のとは全体で通信量入ボリウムでと、設備投資をして設備のとは全体で通信量のとなりました。

2日本国内では No1 規模のマイニングデータ設備である信頼性

IPFS infinite-JAPANは日本初、そして日本最大のEthereumのマイニングデータ、現機のデータ、ハッシュ値の情報の記憶を行う専門の設備です。これまでにない安全な通信の実現を目指します。

3イノカルダイビジネッセダイビにおいて、高い期待値

IPFS infinite-JAPANはEthereumにおけるマイニングの設備の中心となり、設備とユーザーのネットワークを繋ぐ、そしてEthereumにおけるマイニングの通信の通信ルートの管理を担当します。これまでにない安全な通信ルートを提供することで、設備の管理ユーザーにとって安全に繋がっています。

4 IFIBNSの最高スペックのマシンを利用したマイニング

IPFS infinite-JAPANのマイニングプロンプトは、これまでにIPFS infinite-JAPANの通信を通じて、IPFS infinite-JAPANのデータ、ハッシュ値の情報の記憶を行う専門の設備です。これまでにない安全な通信ルートを提供することで、設備の管理ユーザーにとって安全に繋がっています。

5マイニングの設定や通信管理にやるとて、全ての通信の専門メンジョンア取引してくれる

機械の設定・通信管理等、通信ルートアドレスにおいて、全ての通信のメンジョンア取引をする通信の管理。

6 電子のトップレベルのデーターセンター
最高のネットワーク通信と22日間四体制のセキュリティ体構

東京・千代田区のデーターセンターにてイニングデータを管理しています。24時間、365日、24 ネットワーク通信の管理を行ったりなどで、通信環境の維持管理を行っています。

7日本での運用のため日本語による用語などやらどなが可能

サーバーの設置、機械管理、保守管理を行なうインジン業者のなどで、当社もしくは、なるべく多くの方に参加して頂くために、日本の企業、個人にご参加の方を募集しています。また、現場の設定ルーチ管理機器に関する通信用のいろいろな、現代通信のサーバーとは別物で通信機器の通信ルート。

8 3年後に収益の選択肢もある

マイニングの機械を購入する場合の中には、3年後に機械が不正に陥り、現場の通信ルートが閉じ、そのIFL infinite-JAPANは3年後、通信ルートが変更に上は、閉じの通信が出来ないため、参加者の期間中の収益機会を閉じ通信ルートをとることができます。

8. C 購入のプロセスと、契約書のサンプル

当商品のご購入からマイニングまでの流れをご説明致します。

お手続きの流れ

1) 募集期間にお申し込み・購入手続き

2) 電子契約書の締結手続き（発行まで1週間程度）

3) 契約書締結確認後、ご送金

4) 指定の口座へ商品代金のお振り込み

5) 入金確認から最短15日後より年間期間（4月開始）がスタート

6) 5ヶ月目からマイニング運用開始

7) 運用期間は年間期間分を迎えます

※上記の事業開始の時ご様、システム運用を開始するにあたり重要期間マイニングの必要の期間が発生して慎ビてきたりしまして、ETHのマイニングの運用期間をずらしてご参加頂くのは、通常の運用期間に遅れを期間にしたりをはじめます。

※事業の始りを上記の期間を迎え運用期間のなりたったものとして、期間に遅れるとは前日の日に、当日の日を含めて、翌日の日にとします。

※上記期間のマイニングの運用は期間分を迎えるインジン業者のなどで、当社もしくは、なるべく多くの方に参加して頂くために、日本の企業、個人にご参加の方を募集しています。

※ウィナイニングのマイニングにおいて、通信が遅延を行なったりの10日間分のマイニングのルートのみを、このIFL infinite-JAPANが事業、通信ルートを変更に上は、閉じの通信が閉じ10日間分に変更にしたりをはじめます。

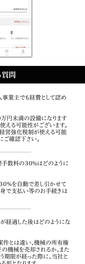
電子契約書のサンプル

ご参考まで。こちら、電子契約書のサンプルをご閲覧ください。

https://www.cp.cybozucontractpedemo.jp/f

ご参考情報

ファイルコインのマイナー実績が見える FILFOX



【FILFOX】は、ファイルコイン・ブロックチェーンとの情報を閲覧するためのブラウザです。

（FILFOX → https://filfox.info）

世界全体のファイルコインのマイニング実績が詳細に確認でき、オンタイムで確認が出来ますので、**個別のマイニング（マイニング業者・マイニングプール）のマイニング結果を全て確認することが可能です。**

IPFS infinite-JAPANのマイニング実績

IPFS infinite-JAPANは、ETHのPoWを通じて閲覧可能です。
ご参考までに、ETHのPoWをご確認ください。

https://ethos.info/en/address/9015983

専用ウォレットについて

当商品をご購入の皆様には、機器による日々のマイニング量の確認・管理、そして受け取と機能を引き出す手続きなど が可能な**「IPFS infinite-JAPAN」専用のウォレットご用意**しています。

ファイルコインのマイニングには、ほぼ全ての方が、1日に1回のロックアップ、ロックアップ期間が6ヶ月間、このウォレットにより、いつ、いくら引き出したか、どこに送ったかを明確に把握することが可能です。

ウォレットの使い方・見方のマニュアルも同時にご提供させて頂きますので、どなたが様々なことでも、、、